

建材価格高騰・入手困難アンケート — 4月末 ▶ 5月末 比較

■ 4月末 (n=499)

■ 5月末 (n=3,276)

▲ = 上昇 / ▼ = 低下

中東情勢による影響 4月末 (4/20~4/30 n=499) と 5月末 (5/1~5/31 n=3,276) の比較

1. 事業者への影響

「影響あり」割合 (大きな影響 + 少し影響)

4月末

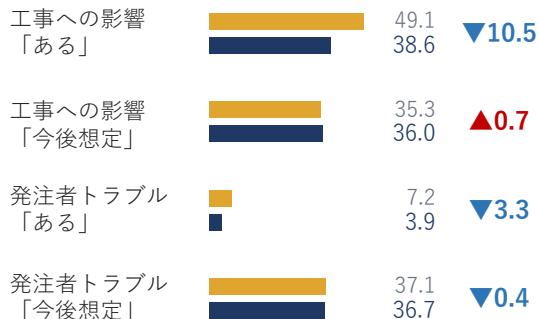
5月末

90% ▶ 83%

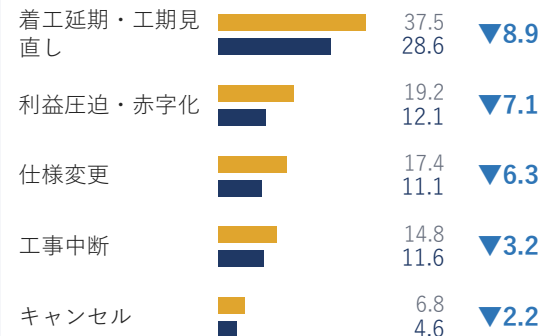
依然として8割超の事業者が影響を受けている

内訳 大きな影響 45%→36%
少し影響 45%→47%

2. 工事・契約への影響



3. 影響の種類別 (現に発生)



4. 業種別 入手困難建材

入手困難と回答した割合(%) 太字=5月末/括弧=4月末

大工・工務店系

断熱材 **18**(17) シンナー **15**(17) システムバス等 **14**(13)

塗装・内装系

シンナー **30**(25) 塗料 **18**(15) 塩ビ管 **2**(圏外)

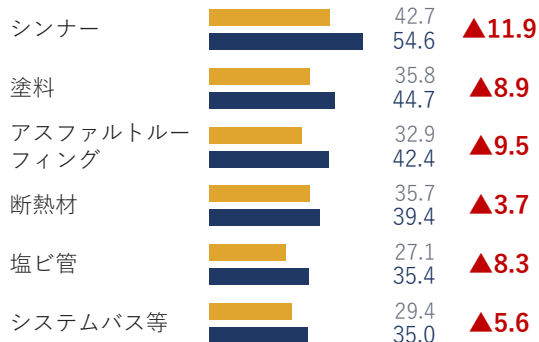
屋根・板金系

アスファルトR **25**(16) シンナー **10**(8) 塩ビ管 **9**(圏外)

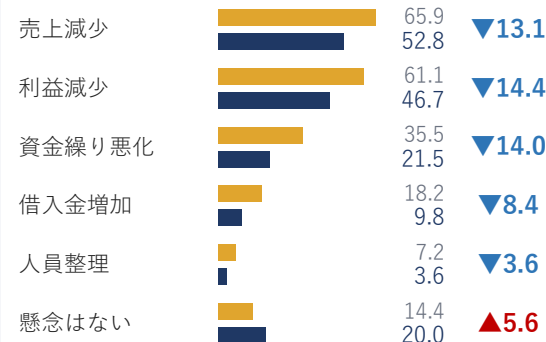
設備・配管系

塩ビ管 **26**(29) システムバス等 **8**(12) シンナー **6**(7)

5. 建材別 価格上昇率 (平均)



6. 経営への懸念



比較の特徴点

① 影響の裾野はやや縮小

影響あり 90→83%、工事への影響あり 49→39%。
依然8割超が影響、約4割で工事に影響。

② 価格上昇率は主要建材で軒並み上昇

シンナー 42.7→54.6%、塗料 35.8→44.7% 等、ナフサ系中心に上昇が顕著。

③ 入手が困難な建材は一貫

大工=断熱材、塗装=シンナー、屋根=アスファルトルーフィング、設備=塩ビ管が上位。

④ 影響の種類は各項目とも割合が低下

着工延期・利益圧迫が引き続き上位。
経営懸念(売上・利益減少)も依然5割前後。

※ 留意事項

- ・ 回答数：4月/499件、5月/3,276件
- ・ 回答者構成 (一人親方)：4月/49%、5月/57%
- ・ 回答者構成 (下請)：4月/48%、5月/59%